

世界高金利債券ファンド

【愛称：債券万博】

追加型投信／内外／債券

日経新聞掲載名：債券万博

第35作成期 2023年6月20日から2023年12月18日まで

第205期 決算日
2023年7月18日

第206期 決算日
2023年8月18日

第207期 決算日
2023年9月19日

第208期 決算日
2023年10月18日

第209期 決算日
2023年11月20日

第210期 決算日
2023年12月18日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、実質的に、世界の先進国、新興国の債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当作成期の状況

基準価額(作成期末)	7,185円
純資産総額(作成期末)	2,076百万円
騰落率(当作成期)	+4.0%
分配金合計(当作成期)	90円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

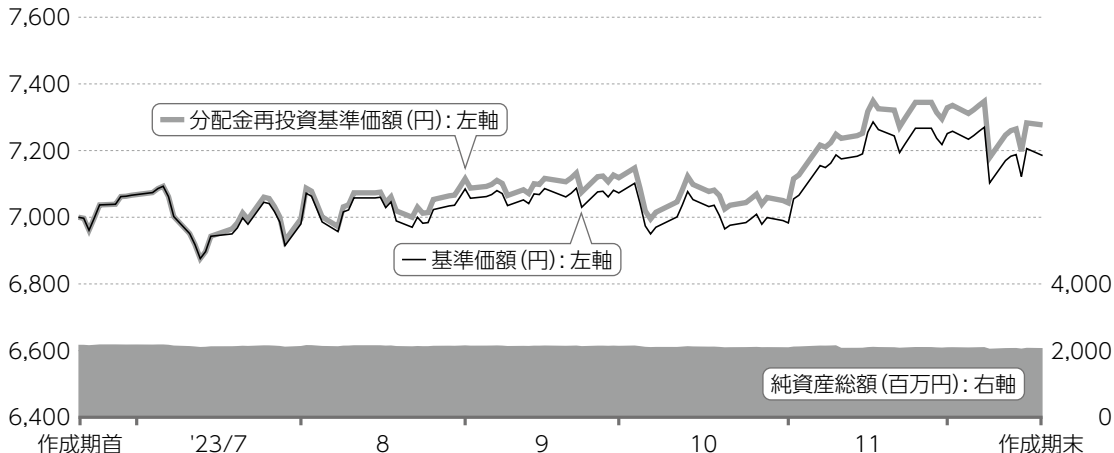
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	7,000円
作成期末	7,185円 (当作成期既払分配金90円(税引前))
騰落率	+4.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

当ファンドは、マザーファンドおよび投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界の先進国、新興国の債券に分散投資を行いました。先進国および新興国の債券への実質投資割合は概ね7：3を基本としました。

実質組入れ外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 債券から得られるインカム収益
- 保有する債券利回り低下(価格は上昇)から得られるキャピタル収益

1万口当たりの費用明細(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	45円	0.637%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は7,071円です。
(投信会社)	(17)	(0.245)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(25)	(0.354)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.038)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	2	0.035	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(1)	(0.011)	
(監査費用)	(2)	(0.023)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	47	0.671	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

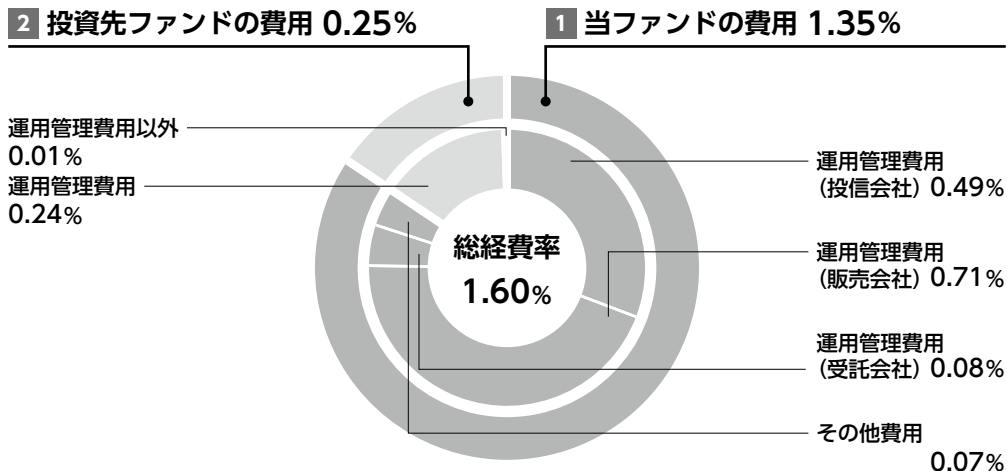
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)	1.60%
1 当ファンドの費用の比率	1.35%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

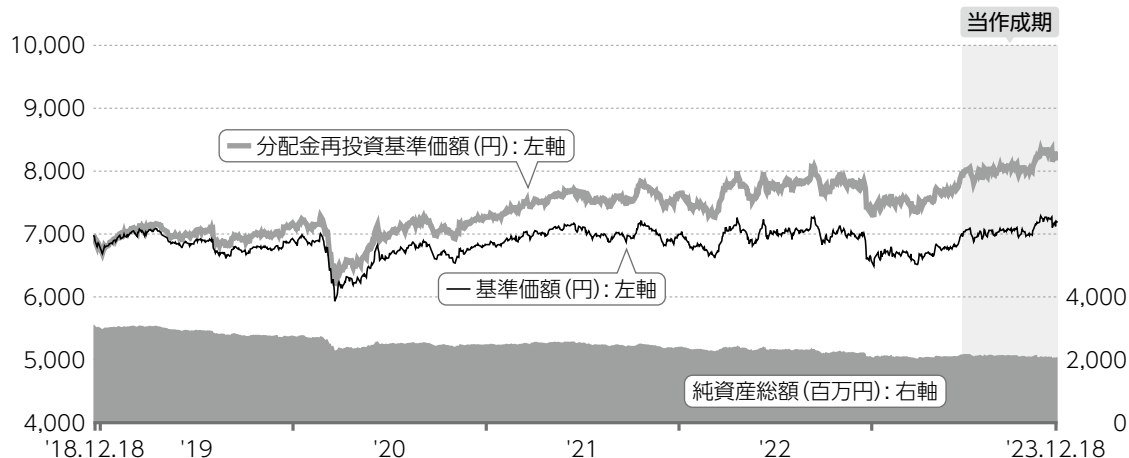
※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.60%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年12月18日から2023年12月18日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2018年12月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2018.12.18	2019.12.18	2020.12.18	2021.12.20	2022.12.19	2023.12.18
		決算日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額	(円)	6,981	6,863	6,816	6,855	6,899	7,185
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	240	180	180	180	180
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	1.8	2.0	3.2	3.3	6.9
純資産総額	(百万円)	3,118	2,752	2,490	2,379	2,204	2,076

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

先進国債券の利回りおよびエマージング債券の利回りは概ね低下(価格は上昇)しました。為替市場では、投資通貨は円に対してまちまちとなりました。

債券市場

先進国債券は、景気の底堅さやインフレの高止まりなどを背景に、先進国中銀の利上げ長期化観測が高まり、利回りは大きく上昇しました。しかし、11月以降は景気減速の兆候などが確認されると、利上げ終了観測が強まり、グローバルに利回りは大幅な低下に転じました。中でも英国では、市場予想を下回るインフレや雇用関連指標を受けて将来の利下げも意識され、債券利回りは先進国の中でも大きく低下しました。

エマージング債券の利回りも先進国債券と同様、一時大きく上昇しましたが、先進国債券利回りが低下に転じると、利回り選好の動きも加わり、エマージング債券の利回りは大幅に低下しました。

為替市場

投資通貨は対円でまちまちとなりました。先進国中銀が利上げ継続の姿勢を維持するなか、日本銀行が緩和的な金融政策の継続姿勢を堅持したことが投資通貨の対円での上昇要因となりました。しかし、11月以降は、先進国中銀の利上げ終了観測の高まりを背景に、米ドルなどを中心に投資通貨は対円で下落しました。

ポートフォリオについて(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

当ファンド

期を通じて「高利回り先進国債券マザーファンド」および「アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用)」を概ね7:3の比率で組み入れました。

高利回り先進国債券マザーファンド

OECD(経済協力開発機構)加盟国の中で、相対的に高利回りで、かつ高格付国の国債や政府機関債、国際機関債、地方政府債を中心とした運用を行うとの投資方針を継続し、ニュージーランド、オーストラリア、アメリカ、カナダ、ノルウェー、スウェーデン、ユーロ圏(フランス)、イギリスの組入れを継続しました。

なお、市場や景気動向、金利水準などを勘案し、期中において組入比率を機動的に調整しました。

アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用)

国別選択では、割安となったトルコの金融セクターの新発債を組み入れたほか、ドミニカの国債、チリの鉱業・金属銘柄などを買増しました。一方、ペルーやカタールの国債を全て売却したほか、南アフリカの国債などを一部売却しました。

種別・銘柄選択では、地域分散に配慮し、米ドル上昇時に自国通貨安から恩恵をうける銘柄を中心としたエマージング社債への投資を選別的に行いました。

通貨別配分では、米ドル建て債券の組入比率については、引き上げました。

ベンチマークとの差異について(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第205期	第206期	第207期	第208期	第209期	第210期
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	(0.22%)	(0.21%)	(0.21%)	(0.21%)	(0.21%)	(0.21%)
当期の収益	9	14	15	10	15	9
当期の収益以外	5	0	－	4	－	5
翌期繰越分配対象額	228	227	228	223	227	222

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「高利回り先進国債券マザーファンド」および「アライアンス・バースタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、世界の先進国、新興国の債券に分散投資を行います。先進国および新興国の債券への実質投資割合は概ね7：3を基本とします。

高利回り先進国債券マザーファンド

先進国では、これまでの利上げに伴う景気減速が見込まれる中、F R B(米連邦準備制度理事会)など、グローバルに中銀のタカ派(インフレ抑制を重視する立場)姿勢が緩むことで、金利の緩やかな低下を予想します。

為替市場は、グローバルに中銀のタカ派姿勢が緩むことも見込まれるなか、来年にかけては、海外通貨高・円安圧力が後退に向かう展開は警戒されるものの、日本からの根強い対外証券投資による資金フローな

どを背景に、相対的に金利水準の高い通貨は、円に対して底堅い推移を見込んでいます。こうした見通しを背景に、今後も相対的に高格付けで、かつ高利回りである国や政府機関、国際機関などの債券を中心に組入れを行い、安定した収益の確保をめざすべく機動的なファンド運営を行います。

アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)

エマージング諸国は、金融緩和への転換で先行しており、物価抑制と経済成長の両面で先進国よりも優位になりやすいとみています。また、地政学リスクの高まりでインフレがある程度残るため、先進国の経済成長の減速に伴い金利が低下に転じていく展開を想定します。2024年にかけて先進国

および中国を中心に景気減速が想定されるなか、弱いマクロ環境がハイイールド債に及ぼす悪影響や、地政学リスクの高まりを警戒し、債務問題や対外収支の悪化に苦しむ国と経済活動再開の恩恵を享受する国の格差が強まっています。

運用にあたっては各国の個別動向を重視し、分散度を高めつつ、価格面での魅力がある国の選別に注力します。エマージング社債については、国債対比の利回りやファンダメンタルズの堅調さから、全般的に強気にみており、地域分散にも配慮して組み入れます。米国金利上昇がかなり進んだことから、リスク環境悪化や景気鈍化を想定し、一部のポジションについてはファンダメンタルズの良い国債へのスイッチを検討します。

3 お知らせ

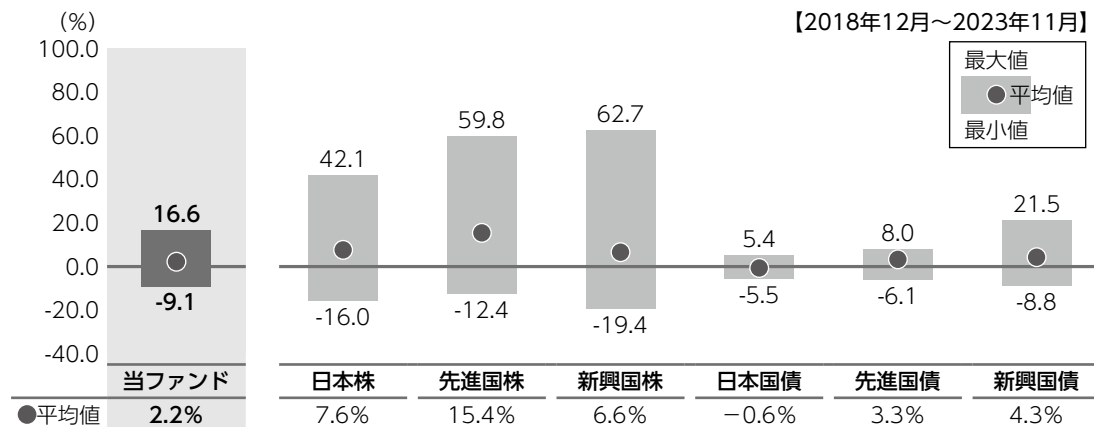
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券
信 託 期 間	無期限(設定日：2006年6月30日)
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、実質的に、世界の先進国、新興国の債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 高利回り先進国債券マザーファンド 世界の主要国の公社債 アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用) 新興国の公社債
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として世界の先進国および新興国の債券に分散投資します。 ■先進国と新興国の債券の投資割合はおおむね7：3を基本とします。 ■実質的に組み入れる外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組 入 制 限	■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の、繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

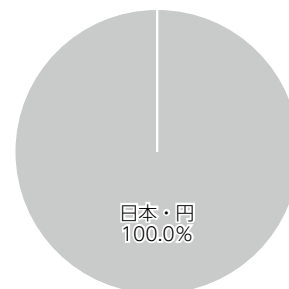
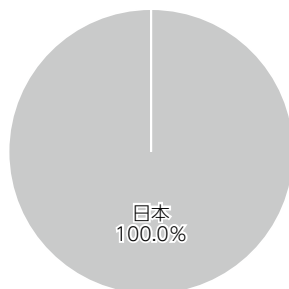
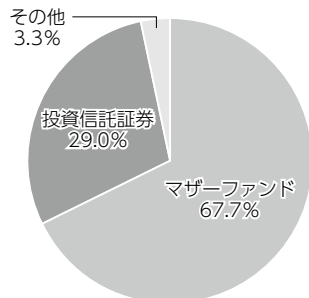
当ファンドの組入資産の内容(2023年12月18日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
高利回り先進国債券マザーファンド	67.7%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB (適格機関投資家専用)	29.0%
コールローン等、その他	3.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第205期末	第206期末	第207期末	第208期末	第209期末	第210期末
		2023年7月18日	2023年8月18日	2023年9月19日	2023年10月18日	2023年11月20日	2023年12月18日
純資産総額	(円)	2,131,406,059	2,137,236,679	2,144,667,074	2,111,394,496	2,101,316,925	2,076,515,851
受益権総口数	(口)	3,066,981,296	3,057,828,370	3,037,392,060	3,014,135,546	2,900,951,908	2,889,880,613
1万円当たり基準価額	(円)	6,950	6,989	7,061	7,005	7,244	7,185

※当作成期における、追加設定元本額は1,556,479円、解約元本額は218,937,280円です。

組入上位ファンドの概要

高利回り先進国債券マザーファンド(2023年6月20日から2023年12月18日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
その他費用	(保管費用)	3	(3)
	(その他)		(0)
合計		3	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

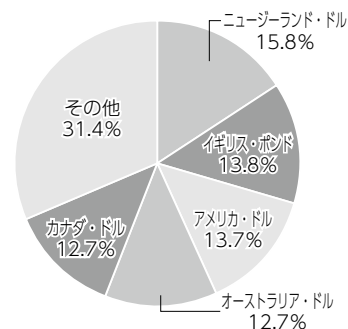
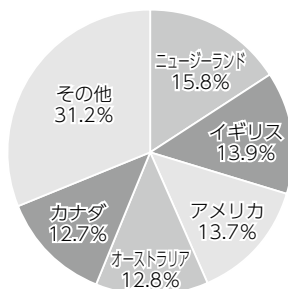
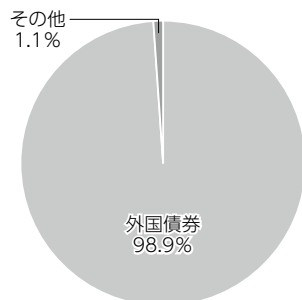
(基準日：2023年12月18日)

	銘柄名	組入比率
1	NEW ZEALAND GOVERNMENT 0.5 05/15/24	10.2%
2	SWEDISH GOVERNMENT 2.25 06/01/32	8.5%
3	AUSTRALIAN GOVERNMENT 2.75 04/21/24	8.1%
4	US TREASURY N/B 1.5 02/29/24	7.0%
5	UK GILT 0.25 01/31/25	7.0%
6	UK GILT 1 01/31/32	6.7%
7	CANADIAN GOVERNMENT 2.25 03/01/24	6.7%
8	US TREASURY N/B 3.875 08/15/33	6.5%
9	NORWEGIAN GOVERNMENT 3 03/14/24	6.5%
10	CANADIAN GOVERNMENT 2.75 06/01/33	5.9%
	全銘柄数	16銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)

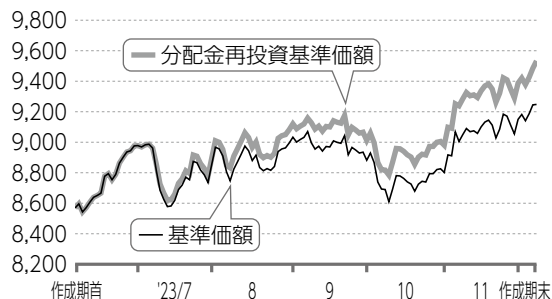


※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2023年12月18日現在です。

アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンド B (適格機関投資家専用)
(2023年6月8日から2023年12月7日まで)

基準価額の推移



※基準価額および分配金再投資基準価額は、作成期首を10,000として指数化しております。

1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
信託報酬	(投信会社)	37	(34)
	(販売会社)		(0)
	(受託会社)		(2)
売買委託手数料	(先物・オプション)	0	(0)
その他費用	(保管費用)	2	(0)
	(監査費用)		(1)
	(その他)		(0)
合計		39	

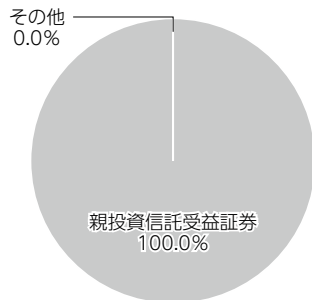
組入れファンド

(基準日：2023年12月7日)

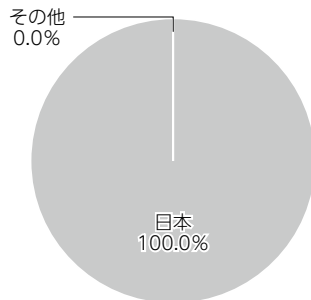
銘柄名	組入比率
アライアンス・バーンスタイン・新興国債券マザーファンド	100.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

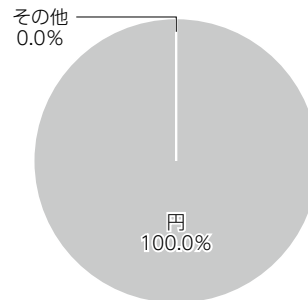
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※基準日は2023年12月7日現在です。

(アライアンス・バーンスタイン・新興国債券マザーファンド(2022年10月8日から2023年10月10日まで))

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(先物・オプション)	0	(0)
その他費用	(保管費用)	7	(3)
	(その他)		(4)
合計		7	

組入上位10銘柄

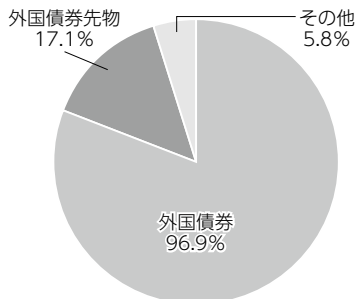
(基準日：2023年10月10日)

	銘柄名	種別等	通貨	国(地域)	組入比率
1	10YR T-NOTES	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	8.5%
2	10 ULTRA FUT	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	7.0%
3	REPUBLIC OF INDONESIA 1.85% 2031/3/12	国債	米ドル	インドネシア	2.3%
4	US ULTRA BON	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	1.6%
5	REPUBLIC OF BRAZIL 10% 2031/1/1	国債	ブラジルリアル	ブラジル	1.5%
6	REPUBLIC OF TURKEY 4.25% 2025/3/13	国債	米ドル	トルコ	1.5%
7	PETROLEOS MEXICANOS 6.5% 2027/3/13	社債	米ドル	メキシコ	1.4%
8	QATAR PETROLEUM 3.3% 2051/7/12	社債	米ドル	カタール	1.4%
9	KINGDOM OF SAUDI ARABIA 5.25% 2050/1/16	国債	米ドル	サウジアラビア	1.4%
10	REPUBLIC OF KENYA 7% 2027/5/22	国債	米ドル	ケニア	1.3%
	全銘柄数		284銘柄		

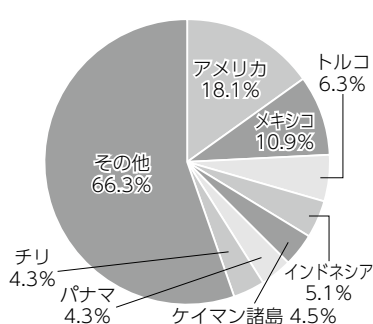
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

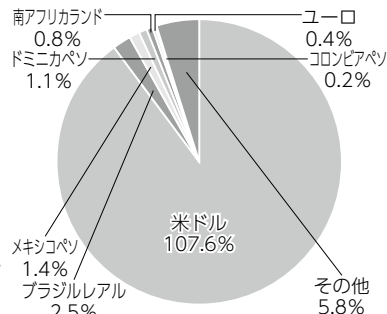
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※基準日は2023年10月10日現在です。

※国(地域)については、発行国を表示しております。

※通貨別配分の「その他」には、「直物為替先渡し取引」を含めて開示しています。その内容については通貨別残高を記載した下記表をご覧ください。

直物為替先渡し取引残高

(基準日:2023年10月10日)

銘柄別	取引契約残高			
	当期末想定元本額			
	買建額		売建額	
	外貨建金額	邦貨換算金額	外貨建金額	邦貨換算金額
米ドル	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
(ブラジルレアル)	965	143	4,572	679
(コロンビアペソ)	813	120	194	28
(ペルーソル)	-	-	1,795	266
(インドネシアルピア)	867	128	-	-
(チリペソ)	867	128	-	-

※邦貨換算金額は、当期末の外貨建金額をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※単位未満は切捨て。

※-印は該当なし。